



初等部だより 12月号

鎌倉女子大学初等部

平成27年11月30日

第9号

「読書」で学力をより確かなものに！

部長 松本安博

全国各地からの便りが、色鮮やかな紅葉からいつしか真っ白な銀世界へと変わってきました。インフルエンザ予防のための手洗いとうがい、ご家庭でもよろしくお願ひします。過日、私もインフルエンザの予防注射を接種しました。この冬も、みんなで体調管理・健康管理に努めていきたいと思ひます。

寒さとともに起床時刻を遅らせたいところですが、私はいつもの時刻、いつもの交通機関を利用して通勤しています。それには、一つ理由があります。

私はいつからか、通勤時間は読書の時間と決めています。そして、なるべく座ってゆったり読書したいと思ひがあるからです。

そんな私、最近テレビで知ったのですが、座るよりも立って過ごす時間が長い方が健康体力の維持によいそうで、外国ではデスクワークのスタイルが変わってきているとのことでした。また、学校でも机の高さが変えられるようになっていて、子どもたちが座ったり立ったりして学習している国があることを知りました。そう言えば初等部でも机の前で椅子に座ることなく、よく立って仕事をしている職員がいるので、そのことを話したところ、以前聞いたことがあるとのことでした。

しかし、私は長い間の習慣もあって、ほとんど座って読書を楽しんでいます。帰りは時間帯によって立たなければならないときがありますが、そのときにはそのテレビのことを思い出すようにしています。

私は常々、初等部生に「人はいくつになっても、自らによるよい自分づくりを続けること、そして、そのためにはときに人の手を借り、ときに人に手を貸し、心豊かに生きていくこと」の大切さを話してきています。「うれしいとき、悲しいとき。楽しいとき、苦しいとき。人生山あり谷あり。悲しいとき、苦しいときこそ力の限り。」と申します。読書は、人として忘れてはならないそれらのことを私たちに思い起こさせてくれます。

私はわずかな時間ですが、大船駅からのバ

スの中でも続きを読むことがあります。最近バスの中で読書をしている初等部生が、少しずつ増えてきている気がします。また、参考書を見ている高学年生もいます。自分なりに工夫して、生活の中で読書の時間をもつことはとてもよいことだと思います。

先週末のことでした。私がバスの中で読んでいた本に関心をもった一人の初等部生に貸していた本が、封筒に入れられて戻ってきました。どんな感想をもったか、今度尋ねてみたいと思ひます。

初等部教育の目指すところは、「感謝」と「奉仕」のこころの形成を柱に、「豊かなこころ」と「健やかなからだ」、そして「確かな学力」を育むところにあります。単に学力ではなく、「確かな学力」であることが大切です。私は、読書を通して初等部生一人ひとりが、これからも学力をより確かなものにしていくことを願っています。

今週末は「学芸会」です。私は、今日の月曜朝会で、劇を仕上げながらいろいろなことに気付いてほしいこと、そして、ご来場のみなさんとともに「夢」と「勇気」、「友情」を胸に、どんなときも前に進んでいくことの大切さを学んでほしいことを伝えました。

師走の土曜日、ご多用のところと思ひますが、ご家族でのご来校をお待ちしています。



「校庭から見えた虹（11/26 職員の撮影による）」